

平成29年度4月号 [4月17日(発行)]



# 東風だより

川口市立東中学校  
川口市東本郷2-20-47番地  
TEL 048-281-4065  
特別支援学級 285-2423  
さわやか相談室 281-4627  
<http://www.sch.kawaguchi.saitama.jp/higashi-j/>

## 是々非々

校長 安部 正幸

平成29年度が3年生187名、2年生179名に、新たに入学した1年生162名を加え総数528名でスタートしました。本年度もどうぞよろしくお願いいたします。

さて表題「是々非々(ぜぜひひ)」の原典は中国の思想家荀子による「是を是と言ひ、非を非と言ふことが直(ちよく:正しいこと、正義)である」という意味の教えです。つまり一定の立場にとらわれず、よいことをよいとして賛成し、悪いことは悪いとして反対することを言います。

### 「ダメなものはダメ」というしつけの良さ

あるしつけを題材とした書物に「子どもの頃に、理不尽なお説教を受けた体験は、大人になってからの判断力につながる。」と書かれてありました。ここで言う理不尽とは、あくまでも一般的には正しいことで、子どもにとって理不尽と思えることを指しています。明確な理由がないまま親から否定され理不尽な思いをすると、たしかに悔しい思いをします。しかし、なぜダメなのかを真剣に考えるようになり、一般的には正しいことに気づきそれが判断力を作り出すというのです。大切なのは、このとき親がひるまず、毅然とした態度で「ダメなものはダメ」と言い切ることだそうです。

### 生徒に対する是々非々の対応

本校は昨年度、大変落ち着いた雰囲気の中で教育活動を実施することができました。この落ち着いた雰囲気がつくり出したのは、先生方が一丸となって取り組んだ「生徒に対する是々非々の対応」だったと考えています。よい行いに対しては褒めたたえ、悪い行いに対してはきちんと指導する。加えてこの指導に対して、多くの保護者の皆さんの協力が得られました。同じ方針でご家庭でも指導していただけたことは、学校としてもたいへん心強いものでした。学校と保護者が同じ方向を向いて取り組んだ結果が、今の東中をつくっているということを実感しました。

今の東中をさらに発展させていくためには、「是」の部分ができるだけ多く発見し、褒めたたえ伸ばしていくことが重要であると考えています。もちろん「非」の部分への指導も疎かにしてはなりません。真面目に努力している生徒が損をするような学校であってはならないと考えます。今年の大きな目標は、落ち着いた教育環境の中で、学力を伸ばしていくことです。この目標に向かって、今年度も教職員一丸となって取り組んでまいります。昨年度にも増しまして、保護者、地域の皆様のご支援、ご協力よろしくお願い申し上げます。